

第七十五回
帝國議會
貴族院

會計検査院法中改正法律案特別委員會會議事速記録第一號

付託議案

會計検査院法中改正法律案
裁判所構成法中改正法律案
恩給法中改正法律案

委員氏名

委員長 子爵加藤 泰通君
副委員長 男爵渡邊 修二君
公爵鷹司 信輔君
侯爵井上 三郎君
伯爵有馬 頼寧君
子爵米田 國臣君
子爵波多野 二郎君
村上 恭一君
三井清一郎君
柴田善三郎君
男爵井田 磐楠君
黑崎 定三君
男爵井上 清純君
結城 安次君
平尾 喜一君

昭和十五年三月十九日(火曜日)午前十時
十七分開會

○委員長(子爵加藤泰通君)

デハ只今カラ
會議ヲ開キマス、會計検査院法中改正法律
案並ニ付託議案デアリマス裁判所構成法
中改正法律案、恩給法中改正法律案、此ノ
三案ニ付キマシテ、先ヅ政府當局ヨリ各案
ノ御説明ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(廣瀬久忠君)

會計検査院法中
改正法律案ノ御説明ヲ申上ゲマス、近時非

第四部第三二類 會計検査院法中改正法律案特別委員會會議事速記録第一號 昭和十五年三月十九日

貴族院

常ニ歳計ガ大キクナリマシテ、昭和十四年
度ノ一般會計豫算四十八億ハ、十一年度ニ
較ベマシテ二倍餘ニモナツテ居リマス、其ノ
他各特別會計ニ付キマシテ見マシテモ、非
常ニ大キクナツテ居リマス、從ヒマシテ一般
ノ會計検査ニ付キマシテモ、會計検査事務
ハ非常ニ多忙ヲ極メテ居ル譯デアリマス、
殊ニ申上ゲル迄モナク臨時軍事費ノ關係ヲ
見マスト云フト、非常ニ大キナ金額ニナツテ
居ルノデアリマシテ、臨時軍事費ノ昭和十
四年ノ四月現在ノ實際ヲ見マシテモ、百二
十億ニ近イヤウナ大キナ豫算ニナツテ居ル
譯デアリマス、之ニ又本年度ノ追加等ヲ合
セマスルト、非常ニ大キナ金額ニ相成ル譯
デアリマシテ、從ヒマシテ會計検査ハ、書
面検査ニ於テ證據書類ノ一箇年ノ検査數ト
云フモノハ非常ニ多クナリマシテ、事變前
ノ會計院ノ總検査ノ數ニ較ベマシテモ、之
ト略、同ジ位ニナルト云フヤウナ實情デアリ
マスルシ、而モ又尙増加スルノ傾向ヲ持ツテ
居ル譯デアリマス、從ツテ検査ノ爲ニ色々ナ
調査ヲシタリ、或ハ審議立案ヲ致シマス項
目モ、益、増加ヲ致シテ參リマシテ、又書面
検査バカリデナク、實地検査ニ付キマシテ
モ、色々増設セラレマシタ内地所在ノ各部
局、殊ニ陸海軍工作廳等ノ實地検査ニ非常
ナ手數ヲ要シマスバカリデナク、派遣部隊
及ビ艦船ノ現地ニ於ケル各般ノ經理ノ實地
検査ヲ致シテ居リマシテ、是等ノ検査箇所
ハ非常ニ地域ガ廣ク、又検査ノ爲ニ多大ノ
手數ヲ要スルヤウナ實情デゴザイマス、斯

様ナ譯デ會計検査院ニ於ケル仕事ハ非常ニ
増加ヲ致シマシタノデ検査能力ノ充實ヲ圖
ル爲ニ、同院ニ二課ヲ増設スコトニ致シ、
二課ヲ増設スル爲ニ検査官二人、副検査官
四人ヲ増置スル必要ガゴザイマシテ、是ガ
今回改正ノ要點デアリマス、ドウゾ御審議
ノ上御協賛ヲ與ヘラレムコトヲ御願ヒスル
次第デアリマス

○委員長(子爵加藤泰通君) ソレデハ次ノ
裁判所構成法中改正法律案ニ付テノ御説明
ヲ願ヒマス

○國務大臣(木村尚達君) 今回ノ裁判所構
成法中改正ハ本會議ニ於テ申述ベマシタヤ
ウニ、地方裁判所及同檢事局ノ書記課ニ書
記長ヲ置クノ途ヲ開カムトスル一點デゴザ
イマス、現在裁判所及檢事局ニ勤務致シマ
スル裁判所書記ノ總數ハ六千名ヲ超過シ、
其ノ下ニ執務致シマス雇員其ノ他ノ職員ガ
之ニ倍加シ、加フルニ執達吏、司法書士等
附屬吏員ノ數モ亦尠クナイノデアリマスル
ガ、之ガ直接指揮監督ノ任ニ當ル者ハ、高
等官ト致シマシテハ、僅ニ大審院及同檢事
局、並ニ控訴院及同檢事局ニ書記長アルニ
止マリ、地方裁判所及同檢事局以下ハ總テ
判任官タル監督書記ヲシテ之ニ充ツル狀態
デアリマス、此ノ故ニ少クトモ地方裁判所
及同檢事局ノ監督書記ヲ高等官ニ昇格セシ
メマシテ、部下職員ノ指揮監督ニ萬全ヲ期
シマスルト共ニ、判任官タル裁判所書記ノ
高等官進出ノ途ヲ容易ナラシメマシテ、其
ノ志氣ヲ鼓舞スルコトガ、司法事務ノ刷新

ニ裨益スル所誠ニ大ナルモノアリト思料致
サレマスノデ、差當リ地方裁判所及同檢事
局ニ書記長又ハ監督書記ヲ置ク制度ヲ始メ
ムト致シマシテ、本改正案ヲ提出致シタ次
第デゴザイマス、何卒十分御審議ノ上本案
ヲ通過ニ御盡力アラムコトヲ切望致シマス
次第デアリマス

○委員長(子爵加藤泰通君) 次ニ恩給法中
改正法律案ニ付テノ御説明ヲ願ヒマス

○政府委員(廣瀬久忠君) 只今議題トナリ
マシタ恩給法中ノ改正法律案ニ付キマシテ、
改正ノ主ナル點ヲ申上ゲマス、其ノ第一
ハ、現行法ノ加算年規定ノ改正デゴザイマ
ス、現行法ハ第三十二條ノ第一項第三號
ノ戰地外勤務加算ハ勤務期間ノ一月ニ付一
月半、第三十五條ノ外國鎮戍加算ハ一月ニ
付一月半、第九十一條ノ外地ノ在勤加算ハ
一月ニ付半月ヲ加算スルコトニナツテ居リ
マスガ、戰地外勤務加算ハ今日ニ於キマシ
テハ、或程度低下スルノヲ適當ト認メマシ
テ、加算ノ割合ヲ一月ニ付一月ト云フコト
ニ致シマシタ、外國鎮戍加算及外地ノ在勤
加算ハ、鎮戍地域、在勤地等ノ實情ニ即シマ
シテ、部分的ニハ加算ノ割合ヲ低下スルノ
趣旨ヲ以テ、外國鎮戍加算ハ一月ニ付一
月半以内、ソレカラ外地ノ在勤加算ハ一
月ニ付半月以内ト云フコトニ改メマシ
タ、以上ハ現行法ニ規定シテ居リマスル加
算規定ノ改正デアリマスガ、一方デハ各般
ノ情勢ノ推移ニ伴ヒマシテ、新シイ加算ヲ
設ケル必要ガアリマスルノデ、第九十二條

ヲ改正致シマシテ、極ク寒イトカ、或ハ極ク暑イ處ノ國境警備ニ服シテ居リマスル公務員ノ爲ニ、一箇月ニ付テ二箇月以内ト云フヤウナ加算ヲ附ケルコトニ致シ、更ニ又近代戰ヲ重要ナ役割ヲ致シテ居リマス戰車ニ乗ッテ居リマス乗員ノ爲ニ、其ノ勤務ノ實情カラ、新タニ第三十七條ノ二ヲ設ケマシテ、一箇月ニ付テ半箇月以内ノ加算ヲ附加ヘルヤウニ致シタノデアリマス、此ノ戰車加算ノ割合ハ搭乘日數等ヲ標準トシテ勅令デ決メル積リデゴザイマス、改正ノ第二ノ點ハ普通恩給ノ停止規定、即チ恩給法第五十八條第一項第三號及第四號ノ改正デアリマス、右ノ第三號ノ規定ハ所謂若イ者、若年者ノ普通恩給ノ一部停止規定デアリマシテ、之ニ依リマス四十歳未満ノ者ノ普通恩給ハ其ノ一部ガ停止セラレコトニナッテ居リマシテ、其ノ中三十五歳未満ノ者ハ一樣ニ普通恩給ノ六分ノ一ニ相當スル金額ヲ停止スルコトニナッテ居ルノデアリマスガ、今回ハ三十歳未満ノ若年者ニ對シマシテハ停止ノ割合ヲ増加ヲ致シテ、普通恩給ノ四分ノ一ヲ停止スルコトニ致シマシタ、第四號ノ規定ハ所謂多額ノ所得アル者ノ普通恩給ノ一部停止ノ規定デアリマシテ、現在デハ普通恩給年額千圓以上、恩給外ノ所得ガ五千圓ヲ超エマス者ハ、六千圓ヲ超ユル金額ノ二割ノ金額ヲ標準トシマシテ、或限度迄停止スルコトニナッテ居ルノデアリマスガ、今回此ノ停止ヲ受ケル者ノ範圍ヲ擴張致シマスルト共ニ、停止ノ割合ヲ増加致シマシテ、恩給年額千圓以上デ恩給以外ノ所得ガ四千圓ヲ超エマス場合ニハ、五千圓ヲ超ユル金額ノ大體一割五分乃至三割ヲ標準ト致シマシテ、或限度迄停止スルコトニ致シタノデ

アリマス、改正ノ第三ノ點ハ扶助料ヲ受ケマス遺族ノ範圍ヲ擴張シタコトデアリマス、現在デハ公務員ノ死亡當時公務員ト同一戸籍内ニ入ッテ居ラナイ者ハ、假令公務員ノ死亡後入籍シマシタ妻又ハ子デアリマシテモ、公務員ノ遺族トハ認メラレナイ、其ノ爲ニ扶助料ヲ受ケルコトハ出來ナカッタノデアリマスガ、今回別途御協賛ヲ御願ヒシデアリマスル戸籍ニ關スル特別法委託又ハ郵便ニ依ル戸籍届出ノ效力ガ認メラレマスコトニナリマスルノデ恩給法デ昭和十二年七月七日以後、即チ支那事變ノ始マリマシテカラ後死亡シタ者ノ事實上ノ家族デ、前ニ述べマシタ法律デ公務員ノ死亡ノ時ニ遡ッテ、妻デアリ子デアリ身分ヲ得マシタ者ヲ遺族トシテ取扱ヒ之ニ扶助料ヲ給スルノガ、此ノ際銃後施設トシテ肝要デアルト信ジマシテ、之ニ伴フ必要ナ改正ヲ致シマシタ、之ニ依リマシテ、前述ノ如キ妻ヤ子ハ一定ノ條件ノ下ニ遺族トシテ待遇ヲ受ケルコトニナリマスルノデ、從來問題トナリマシタ公務員死亡後ノ遺族ハ、大體此ノ中ニ入ルコト、相成ルノデアリマス、尙第十七條ヲ改正シマシテ、新タニ内地ノ公立中等學校職員等ノ一時恩給ヲ、俸給ヲ給シマシタ者相互間デ分擔スルヤウニ致シ、又次年度カラ内地ノ小學校教員ノ俸給ガ府縣費支辨ニナリ、而モ國庫ヨリ府縣ヘノ交付金ハ從前通り繼續致シマスノデ、第十八條ヲ改正致シマシテ其ノ趣旨ヲ現ハスコトニ致シマシタ、尙第三十八條ヲ改正致シマシテ、不健康ナ業務ニ勤務シテ居ル者ニ附ケマスル不健康業務加算ノ要件ヲ多少緩和スルコトニ致シマシタ、以上ガ本案ヲ提出致シマシタ理由デゴザイマス、何卒御審議ノ程ヲ御願ヒ致シ

マス
○委員長(子爵加藤泰通君) 如何デアリマセウカ、マダ十分御質疑ノ御準備ガゴザイマスカ、如何デアリマスカ、若モ何カ參考書デモ御覽ノ上更ニ御質疑ニナルナラバ本日ハ此ノ程度デ止メタイト思ヒマスガ……
○三井清一郎君 會期モ切迫シテ居リマスシ、前二案ノ如キハ極ク簡單ナ案デアリマスカラ、御審議ヲ進メテ戴ク方ガ此ノ時期ニ於テハ適當デヤナイカト思ヒマス
○委員長(子爵加藤泰通君) 如何デアリマスカ、三井委員ノ御發言ニ御同意デスカ……ソレデハ如何デアリマセウカ、此ノ會計検査院法中改正法律案及裁判所構成法中改正法律案、此ノ二案ニ付キマシテ何カ御質疑ガゴザイマスレバ此ノ際御願シタイト思ヒマス
○三井清一郎君 會計検査院法中改正法律案ニ付テ御尋シタイト思ヒマス、今回御提案ニナッタ増員ノ件ハ我々ハ尤モ至極デアルト思ヒマス、寧ロ其ノ遲キニ失スルヲ憾トスルモノデアリマス、既ニ事變ニ入ッテカラ平時ノ十數倍ノ豫算ヲ政府ハ運用シ、サウシテ此ノ會計事務ハ非常ニ複雑ニナリ、殊ニ戰地ノ狀況等ヲ熟視シテ、適當ナ検査ヲスルト云フコトハ最モ切要ナルニモ拘ラズ、今日迄此ノ検査官ノ増加ヲシナカッタト云フコトヲ私ハ憾トスルノデアリマス、我々が貴族院デ決算報告ヲ讀ミ、此ノ審議ヲ致シマスルト、殆ド半分以上ハ検査院ノ批難事項ガ不適當デアルト云フ判決ヲ受ケルニ至ル如キハ、検査院ノ検査ガ十分デナイト云フ結果ヲ象徵スルモノト考ヘマス、殊ニ検査院ガ單ニ書面検査デ此ノ龐大ナル豫算ノ検査ヲ終ヘルト云フコトハ無論出來ナ

イノデアツテ、實地検査ヲヤル、其ノ實地検査モ十分手ガ届カナイガ爲ニ、豫算ノ使用者ト検査院トノ間ニ意見ノ扞格ガ出來、實際ヤツテ居ル行政官ノ行爲ガ寧ロ我々ニ認セラレルト云フコトハ、検査院ノ組織ガ不十分デヤナイカ、斯ウ云フ感ジヲ持ツノデアリマス、寧ロ今日ハモットヨリ以上ノ人員ヲ増加シテ、本當ニ實地検査ヲシツカリヤツテ、此ノ國民ノ負擔スル豫算ノ執行、其ノ運用ヲ最モ適切ナラシメルト云フコトハ大切ナコトデアラウト思ヒマス、次ニ軍事費ノ如キハ特別會計ニナッテ、此ノ後數年後デナケレバ……帝國議會ニ何時御報告ニナリマスカ、十數年掛カルカモ知レマセヌガ、斯ウ云フ情勢ニ在ッテ此ノ會計検査院ノ検査ト云フコトハ、國民ガ安心シテ國費ヲ協賛シテ居ル點カラモ、検査官ガ多クアツテ戰地等ノ實況ヲヨク見ラレテ適切ナ検査ヲナサレナイト、此ノ經費ノ使用ニ付テモ非常ナ不便ヲ感ズル、戰地ニ於キマシテ物ガ紛失シタ、或ハ燒失シタ、其ノ理由ガドウカト云ツタツテ、戰サノ中デハソレナコトガナカ、明確ナ整理ガ出來ルモノデヤナイ、是ガ實地ニ行ッテヨク見テ居ラレタナラバ、サウ云フ非常識ナ審理ガトカ推問ダトカ云フヤウナコトハナクナツテ、眞ニ軍ノ活動狀況ヲ見テ、是ハ斯ウシナケレバナラス、ア、シナケレバナラス、斯ウ云フ書面ガ出シ得ナイト云フコトハ事實尤モデアルト云フ觀念ガ生ズルノデアラウト思フ、ドウモ検査官ガ少イ爲ニ、下ッ端ノ書類調査ヲスル人ガ多イ爲ニ、實際ノ事情ト検査官ノ報告トノ間ニ非常ナ齟齬ガアルト云フコトヲ、今日迄ノ検査院ノ検査報告ニ依ッテ我我ハ知り得テ居ル、寧ロ之ヲ僅カ三名トカ

五名トカノ増員デナク、大々的ニ増加シテ、此ノ豫算ノ膨脹ニ伴ヒ、又戰地ニモ適當ナ人ヲ派遣シテ、十分ニ戰地ノ事情ヲ理解セシメルト云フ手段ヲ講ゼラレムコトヲ切望スルノデアリマス、此ノ意味カラシテ政府ハドウ御考ヘニナッテ居ルカ伺ヒタイ

○政府委員(廣瀬久忠君) 只今會計検査院ノ充實ノ問題ニ付キマシテノ御質問デアリマスガ、御話ノヤウニ最近一般會計ニ於キマシテモ、特別會計ニ於キマシテモ、非常ナ増加ヲ致シテ居ル、其ノ外ニ非常ニ大キナ軍事費ノ支出モゴザイマス、斯ウ云フヤウナ關係デ、會計検査ノ仕事ハ非常ニ多忙デナカク、思フヤウニ參リマセス、之ニ付キマシテ本年増員ヲ致シテ居ル譯デアリマスガ、マダノ不十分デアルト云フ仰セノ點ハ誠ニ御尤ニ存ジマス、併シ本年ハ此處デ二ツノ課ヲ増置シマシテ會計検査ノ充實ニ資スルト云フ積リデ進ンデ居ル譯デアリマス、勿論政府ト致シマシテモ是デ十分ダト考ヘテ居ル譯デアリマセス、尙將來モ只今御説ノ點等ニ付キマシテ十分ニ考慮ヲシテ適當ナ方法ヲ執リタイト存ジテ居リマス

○三井清一郎君 漸次増加シテ検査ヲ十分ニヤルト云フ御答デ満足致シマス、尙検査ヲ此ノ時局ニ際シテ増加スル以上ハ、矢張り時局限りノ増員トシテ、平時ニハサウ必要ガナイノデアリマスカラ、此ノ時局ノ大キイ豫算運用ノ時期、此ノ検査ノ結末ヲ付ケル迄ヲ限定シテ増員スルト云フコトハ出來ナイモノデアリマスカ、永久性ヲ持ツタ検査院法ヲ改正ニナラナケレバナラス理由ガチヨット私ニハ、ハッキリシマセスガ……

○政府委員(樋貝詮三君) 實ハ其ノ點ニ付

キマシテハ大分考ヘテ居ッタノデス、此ノ會計検査院法ヲ度々増員ナド御審議願フノモドウカト云フヤウナ考ヘモアリマシテ、會計検査院法ヲ此ノ點ニ關シマシテ、モウ少シ根本的ニ變ヘマシテ、裁判所構成法ニ於ケルガ如ク定員ノ方ハ外ヘ出シテ、自由ニ必要ニ應ジテ増減ガ出來ルト云フ風ニシタイト云フコトモ餘程考ヘテ見タ譯デアリマス、今度ハ實ハ其ノ非常ニ急ギマシタノデ、豫算ノ方ノ關係ガアリマシタカラ、非常ニ急ギマシタノデ、ソコ迄手ヲ著ケテ根本的ナ……根本的ナト申シマシテモ其ノ限度ダケデスケレドモ、ソコ迄ヤルノ……ソレ迄ヤルナラバ、外ノ所ニモト云フヤウナコトガ、自然考ヘラレルシ致シマシタモノデスカラ、取敢ズ是ダケノコトヲシテ置カウト云フコトニ致シタ譯デシテ、三井サ

ンノ仰シヤル通り、サウ云フヤウナ點ニ付テ、モット根本的ニ考ヘナケレバナラスカトモ思ッテ居リマス、唯是ハ勅令ヲ以テ増員デモスルヤウナコトデアレバ、臨時増員ト云フヤウナコトモ出來マスケレドモ、法律デ而モ意味ニ於テノ身分ノ事實上ノ保障ト云フヤウナ位置ヲ與ヘテ居ルモノデスカラ、臨時ニ採ッテ、臨時ニ罷メタイト云フヤウナコトガチヨットヤルノヲ憚ルト云フヤウナ事情モアリマシテ、此ノ今迄ノ形式デ、人ダケ増員スルト云フヤウナコトニ致シマシタ譯デアリマス

○三井清一郎君 諒承致シマシタ

○村上恭一君 私ハ只今御隣席ノ委員ガ御申述ベニナリマシタ所トハ稍、違ッタ考フ持ッテ居リマス、近來行政各部ノ職員ノ定員ノ増加ト云フコトハ實ニ恐レベキ勢デゴザイマシテ、只今確カナ計數ヲ持ッテ居リマ

セスガ、恐ラク毎年萬ヲ以テ數ヘルト云フ職員ガ……是ハ判任官以上ノ職員デアリマスガ……増加シテ居ラウト思ヒマスル、勿論近年行政各部ノ事務ノ増加ト云フコトハ否ムベカラザル事實デアリマスルガ、併シ最近ニ見マスル年々ノ職員定員ノ増加ハ果シテ適正ナモノデアラウカト云フコトヲ稍、私ハ豫テ祕カニ憂ヘテ居ルノデゴザイマシテ、此ノ會計検査院ニ於キマシテモ、事務ノ増加ノ爲ニ若干職員ノ定員ヲ増加スルコトハ如何ニモ正當ナ理由ノアルコトト

思ハレマスルガ、併シ最近ニ豫算ガ著シク膨脹シテ居リマスル其ノ勢カラ見マスルト、實ハ會計検査院ノ職員定員ノ増加ハ此ノ位デヤ足リナイ筈デゴザイマス、モットモット多ク増サナケレバナラス所デアリマスガ、先ヅ此ノ程度ニ止メテ置カレルト云フノニ於キマシテハ、自然検査事務ノ行ヒ方ヲ變更ササル、何レ書面検査ニシテモ實地検査ニシテモ全部漏レナク検査スルト云フコトノ出來ヤウ管ハアリマセスカラ、一部ノ検査所謂抜き検査デアラウト思ヒマス、併シ近年會計ガ膨脹スルニ伴ヒマシテ、自ラ已ムヲ得ズ、抜き検査ヲ少クシテ居ラレ

ルノデアラウト思ヒマスル、サウトシマスレバ、轉ジテ考ヘレバ其ノ抜き検査ノ範圍ヲ益、小サクシテ行ケバ宜イノデアッテ、必ズシモ職員ノ定員ノ増加ヲシナクテモ宜イト云フコトモ言ヘナイ譯デアナカラウト思ヒマス、且亦會計検査院ハ本來政府ノ決算ヲ検査スルト云フノガ職能デアリマスルガ、併シ會計ノ觀點カラ見マシテ行政ヲ監視スルト云フ立場ニアルモノト思ヒマスル、就

査院トシテモ、相當ノ關心ヲ御持チニナッテ、斯ウ云フ風デヤ困リヤシナイカト云フ風ニ考ヘラレテ宜シイコトデヤナイカト思ヒマスル、就キマシテハ身ヲ以テ範ヲ示シテ會計検査院自ラガ定員ヲ増加シナイデ、今迄以上ニ勉強ヲシテヤッテ行クト云フ例ヲ御示シニナルト云フコトモ必要デヤナカラウカ、今後豫算ノ増加ニ伴ヒマシテ、此ノ會計検査院ノ職員ノ定員ヲ年々ノヤウニ増加シテ行カレルト云フヤウナコトニナリマシ

テハ、私ハ容易ナラヌ大事ダラウト思ヒマスル、就キマシテハ又先刻御隣席ノ方カラ御申述ニナリマシタヤウニ、戰時事變ニ伴ッテ會計ガ膨脹シテ居ル、其ノ検査事務ガ増加シテ居ルト云フコトニ付キマシテハ此ノ會計検査院ノ職員ノ一部ハ、臨時職員トシテ御置キニナルト云フコトガ出來ルノデヤナカラウカ、ソレニシマシテモ、矢張り會計検査院法ヲ改正ヲ要スルノデアリマスルガ、此ノ増員ヲ斯様ナ永久増員ノ形デナシニ、マア他ニモ往々例ノアリマスルヤウニ當分ノ中、増員スルト云フコトデモ、法律ノ體ヲナサヌコトハナイト思ヒマスル、其ノ邊ニ付キマシテ政府ノ御意嚮ヲ承ッテ置キタイト思ヒマスル

○政府委員(廣瀬久忠君) 只今ノ御質問ニ付キテ御答ヲ申上ゲマス、御話ノヤウニ最近政府ノ官吏ガ非常ニ増スト云フコトハ御話ノヤウデアリマスガ、是モ矢張り只今御話ニナリマシタ事務ガ非常ニ増加ヲ致シマスルノデ、已ムヲ得ザルニ出デアルモノト信ジマス、勿論不適正ノ増加ガアッテハナラヌト思ヒマス、是等ニ付キマシテハ、勿論注意ヲ致サナケレバナラス存ジマス、尙此會計検査院ノ増員ノ問題デアリマスガ、

是モ矢張り只今三井委員ノ御質疑並ニ村上委員ノ御質疑、共ニ程度ノ問題デ、適當ナル所ニ落著ケテ行クト云フノガ、實際上ノヤリ方デナケレバナラヌカト思ヒマス、ソコデ矢張り會計検査院ニ付キマシテモ、是モ増員ヲ或程度致スコトハ已ムヲ得ナイ、範ヲ以テ示ス覺悟ハ勿論必要デアリマスガ、併シ矢張り程度ノ問題ガアリマスノデ、或程度ノ増員ハ御認メヲ願ハナケレバナラヌト思ヒマス、ト同時ニ又濫リニ増スコトガアツデハナラヌト思ヒマス、尙法ニ付テ臨時ノ建前デ増員ヲシタラドウカト云フ御考、誠ニ御尤モデゴザイマス、此ノ點ニ付キマシテハ、尙將來十分ニ研究ヲ致シテ見タイト思ッテ居リマス

○村上恭一君 細イコトデスガ、序ニ伺ッテ置キタイト思ヒマスガ、此ノ法律ノ改正デハ高等官ノ増員ダケノヤウデアリマスガ、之ニ伴ヒ屬ト云ヒマスガ、書記ト云ヒマスガ、判任官以下ノ職員ノ増員ヲ要スルノデハナイカト思ヒマスガ、是ハドウナッテ居リマスカ

○政府委員(樋貝詮三君) 是ハ實質ニ於キマシテハ、判任官ヲ十人増員スルコトニナリマスノデスガ、昨年一般ニ經費節減デ判任官ノ方ヲ各廳共ニ減ラヌヤウニシテ居リマス、御承知カト存ジマスガ、其ノ分ガ丁度十人アリマス、ソレヲ會計検査院ニ割當テラレマシタノデ、ソレデ今度増員スル分ヲ差引キマシテ、結局此ノ分ハ數字ノ上ニ於キマシテハ増減ナシト云フコトデ、今度ノ會計検査官及副検査官ノ増員ニ伴フ判任官ノ増員ハ考ヘ得ルコトニ致シテ居リマス

○三井清一郎君 一言チヨット御伺ヒ致シマス、増員モ結構デアリマスガ、検査官ガ

北支中支南支等ニ出張シテ、實際ノ軍ノ活動狀況ノ視察ニ依ッテ、總テノ會計制度ガ此ノ程度デアルト云フ觀念ヲ作ル、此ノ出張ガ割合ニ少イト云フコトヲ聞イテ居リマスガ、或ハ検査官ニ臨時費ノ出張旅費等ガ少イノデハナイカト思ヒマスガ、是ハ十分検査ノ目的ヲ達シ得ルダケノ、豫算ヲ御配付ニナッテ居リマスカ

○政府委員(樋貝詮三君) 大體検査ニ行キマスルノハ、三組位デ參ッテ居リマスガ、昭和十五年度ニ於ケル外國旅費要求額トシテ二萬四千圓ヲ計上致シテ居リマスルシ、ソレカラ昭和十四年度ニ於キマシテハ二萬三千五百圓バカリヲ要求致シテ居リマシタ、今ノ御尋ノ旅費ガ少イノデハナイカト云フ點デゴザイマスガ、今日物價モ非常ニ騰ッテ居リマスシ致シマスカラ、是デ必ズシモ十分トモ申サレマセヌガ、參ッテ居ル日數ヲ切詰メルトカ、或ハ軍ノ方ノ便宜ヲ與ヘテ貰フト云フコトニ依リマシテ、何トカ賄ヒヲ附ケルト云フコトニスルヨリ外ハナイト思ヒマス、モット澤山アレバ更ニ長ク出張シテ居ルト云フコトモ出來マスケレドモ、ソレモチヨット不可能カト思ヒマス、第一人數ガ足ラナイノガ旅費ヨリカ苦痛ヲ感ジテ居リマス、相當今日會計検査院デハ遅ク迄非常ニ急ガシクヤッテ居ル事實デアリマシテ、到底綿密ニ十分氣ガ行クヤウニ検査スルノニハ、手ガ廻リ切ラヌト云フノガ實情デアリマス

○委員長(子爵加藤泰通君) 何カ外ニ會計検査院法中改正法律案ニ付テ御質疑ハゴザイマセヌカ、只今ノ所ゴザイマセヌケレバ是ハ又後日引續クコトニ致シマシテ、裁判構成法中改正法律案ニ付キマシテ、御質疑ヲ願

ヒタイト思ヒマス

○村上恭一君 今日戴キマシタ參考資料ニ依ッテ見マスルニ、裁判所及検事局ノ監督書記ヲ書記長ニ昇格サセルト云フコトハ、段段其ノ範圍ガ廣クナッテ參ッテ居リマス、即チ明治二十三年當初ニ於キマシテハ、大審院ト控訴院ダケガ書記長ト云フコトデアリマシタノガ、今日ハ、今度ノ改正ニ依リマスレバ、ズット下ッテ地方裁判所及其ノ検事局ニ迄書記長ヲ置カウト云フコトノヤウデアリマス、此ノ勢ヲ以テシマスレバ、遠カラザル將來ニ、區裁判所及其ノ検事局ニモ書記長ヲ置クト云フコトニナルノデヤナイカ、ソシテヤウニモ思ハレルヤウナ次第デゴザイマス、監督書記ヲ書記長ニ昇格スルト云フコトノ眞ノ理由ハ、必要ハドコニゴザイマセウカ、先刻司法大臣ノ御説ノ中ニモ其ノヤウニシテ部下ノ職員ニ對スル監督ノ機能ヲ充實スルト云フ趣旨ノ御言葉ガアッタヤウニ承リマシタガ、上官ガ下官ヲ監督スルト云フコトハ、誠ニ當然ノコトデアリマスルガ、ソレニハ判任官ノ監督書記デヤリヨクナイ、高等官ノ書記長ニシテ、始めテ能ク出來ルト云フコトガ、果シテ當嵌ルコトデゴザイマセウカドウカト云フコトニ、私ハ少少疑問ニ感ズルノデゴザイマス、是ハズット違ッタ種類ノ事柄デアリマスガサウ云フ種類ノ事柄ガ他ノ行政部内デモ能ク行ハレルヤウニ思ヒマス、一一ノ例ヲ採ッテ申シマスレバ、私ガ嘗テ奉職シテ居リマシタ逓信省部内ノコトデアリマスルガ、全國ニ配置シテアリマスル郵便局ニハ御承知ノ通り一等カラ三等迄ノ等級ガアリマス、官制デハ其ノ一等局ノ局長ハ高等官、二等局、三等局ノ局長ハ判任官ト云フコトニナッテ居リマ

ス、デ彼此レシテ居リマスル内ニ其ノ二等局ヲ一等局ニ昇格サセルコトニナリマシテ、局長ガ判任官カラ高等官ニナル、併シナガラ其ノ郵便局ノ事務ニハチットモ變リハナイ、一等局デアラウガ、二等局デアラウガ、郵便局ノ事務ニハ一向變化ハナイノデアリマス、ニモ拘ラズ局ヲ昇格シ、局長ヲ昇格サセルト云フコトハ果シテ十分ナ理由ガアルモノデアリマセウカ、サウ云フ事柄ニハ思掛ケナイ弊害ヲ伴フコトガアルヤウデアリマス、ト申シマスルノハ、現ニ私が居住シテ居リマスル附近ノ局ノコトデアリマスルガ、其ノ郵便局ガ二等局カラ一等局ニナリマシテ、初メテ高等官ノ局長ガ出來マシタ、其ノ局長ハ満足デハアリマシタデセウガ、自分ノ所ノ昇格ヲ披露スル爲ニ其ノ郵便局管轄區域内ノ主ナル御方ヲ招待シテ一席晚餐會ヲ催シタ、私共ニモ出席シテ呉レ、斯ウ云フ通知ヲ受ケタノデアリマス、密カニ聞キマスルト、其ノ招待ヲ受ケマスル者ハ數十人ノ多數デアリマシテ、數十圓或ハ數百圓ト云フヤウナ費用ヲ要スルコトデアリマセウ、是ハ恐ラクハ其ノ局長ノ自辨デハナクシテ、局長ノ交際費トカ何トカ云ッタヤウナ公費ノ一部ヲ使用スルノデアラウト推測致シマシタ、ソコ迄詮索致シテ訊ス譯ニハ行キマセヌケレドモ、斯様ナ事柄ハ大シタコトデヤナイヤウナモノノ、ドウモ公費ノ濫費トモ言ヘルノデアリマスマイカ、是ハ全ク餘分ノ話デアリマスルガ、其ノ郵便局ノ昇格カラシマシテ、思掛ケナイ、サウ云フヤウナ餘弊ヲ生ズルヤニモ思ハレマス、兎ニ角事務ノ實體ニハチットモ關係ガナイノニ、昇格サセルト云フコトガ動、モスレバ世間ニ行ハレテ居ルノデハナカラウ

カ、行政各部ニ左様ナ事柄ガ行ハレテ居ルノデヤナカラウカト云フコトヲ、私ハ密カニ憂ヘテ居リマス、サウ云フ觀點カラ眺メルセイモアリマセウカ、此ノ裁判所構成法ノ改正ニ付キマシテモ、直チニ全幅ノ賛成ヲ表スルト云フ心持ヲ少々タメラフノデゴザイマスガ、更ニ當局ノ御方カラ此ノ改正ヲ必要トスル理由ノ御説明ヲ伺ヒタイと思ヒマス

○國務大臣(木村尚達君) 地方裁判所及同檢察局ノ監督書記ヲ書記長ニシテ高等官ニ昇格セシメタイト云フノハ實ハ司法省年來ノ希望デアリマシタ、併シ今日ニ至ル迄色々ノ事情デ實現ノ機會ヲ得ナカッタヤウナ次第デアリマスガ、御承知ノ如ク裁判所書記ノ仕事ハ裁判事務及檢察事務ノ内容ニ至大ノ關係ヲ有ッテ居ルノデアリマスガ、唯書記ノ數ハ先ニ申上ゲマシタヤウニ、六千名ニ垂ントシマススケレドモ、何時迄勤續シテ居リマシテモ、高等官ニ成ルノ機會ガナイ、無論主事等ニナル機會ハアリマスガ、所謂奏任官ノ地位ヲ得ルノ機會ガ他ノ行政各部ニ比シテ非常ニ少イノデアリマス、從ヒマシテ、書記ノ中ニ優秀ナ人ヲ永續セシムルト云フコトガ非常ニ困難ナ事情ニアリマス、從ッデマア若イ人間デモ永ク居レバ時ニ依ルト監督書記ニナリ得ルト云フヤウナ實情ニ實ハ迫ラレテ居ルノデアリマス、サウ致シマス、現時裁判事務其ノ他ニ付キマシテモ、事務ノ非常ニ輻湊シテ居リマス際、ドウモ部下ノ監督或ハ事務ノ刷新等ニ付テ憂フベキコトガ實ハ尠クナイノデアリマス、ソレデ年來ノ希望ト云ヒマスノハ何トカシテ書記ニ優秀ナ人ヲ永續セシメ、又入ッテ來ル人ニ優秀ナル人ヲ得タイト云フノガ非常

ナ強キ願望デアリマシタ、ソレデ今度書記長ノ制ヲ開キマシテ、希望ト致シマシテハ行クハ地方裁判所及同檢察局ニハ全部ノ監督書記ヲ其ノ書記長ニシテ戴キタイ、サウ云フ希望ヲ非常ニ強ク抱イテ居ルノデアリマス、結局先ニ御示ニナラレマシタヤウナ郵便局等ノ弊害モアリマセウガ、此ノ構成法ノ改正ニハ結局書記ノ事務ノ刷新ヲスルノニハドウシテモ優秀ナル人ヲ裁判所書記長ニ永續セシメルト云フコトガ絕對必要ダ、ソレガ本案ヲ提出致シマシタ主ナル理由デアリマスカラ、左様御承知ヲ願ヒマス

○村上恭一君 サウ致シマスルト、下級ノ職員ヲ優遇シ獎勵スル、サウシテ優秀ナ下級職員ヲ得ルヤウニスルト云フコトガ主ナル理由ト考ヘテ宜シイノデアリマスカ

○國務大臣(木村尚達君) 先ニ申シマシタヤウニ監督書記ニ優秀ナ人ヲ得ルノニハ、ドウシテモ奏任官ノ地位ヲ與ヘマセスト逃ゲデシマヒマスノデ、ソレガ兎ニ角從來司法省ノ熱望シタ主ナル理由デアリマス

○村上恭一君 ソレニハ別ニ判任官ヲ優遇スル途ガ開イテアルコトト思ヒマスガ、主事ト云ヒマシタカ、サウ云フモノニ高等官ノ待遇ヲ與ヘルト云フコトガアルヤウニ思ヒマスガ、サウ云フヤウナ制度デハ足リナイノデアリマスカ

○政府委員(坂野千里君) 只今御尋ノ趣旨デゴザイマスガ、六千餘名ノ書記ノ中デ主事ニナリ得ルモノハ十二名シカ只今ノ所アリマセス、其ノ程度デアリマシテハ實ニマア拔ケ道ガナイト云フコトニナリマス、ソレカラモウ一ツ申上ゲマスガ、非常ニ裁判所書記ト云フノハ在職ガ永イノデアリマス、

永イコトカラ又非常ニ色々良イ結果ヲ得テ居ルノデアリマシテ、六十以上ニナッテ在職シテ居ル者モ相當アリマス、サウ云フ關係上非常ニ其ノ進級ガ遅イト云フコトニナッテ居リマス、デ他ト比較致シマシテ、隨分遅レテ居ル、サウシテヤット上ノ方ノ人ガ主事ニナレル、斯ウ云フ程度デアリマシテモソレガ十二名シカナイ、斯ウ云フ只今ノ狀態デアリマス、ドウモ待遇ノ方カラ見テモウ少シ高等官ニナリ得ルヤウニシテヤラナイトイカヌノデヤナイカ、斯様ニ考ヘラレマス、ソレカラモウ一ツ今申シマシタヤウニ、非常ニ在職ガ永イ關係上、監督書記ニハ優秀ナ者ヲ若クテモ拔擢致シマス、サウ致シマス同ジ判任官デモ級ノ下ノ者ガ上ノ者ヲ監督スルト云フコトニナリマス、此ノ點ニ於キマシテモ、地方裁判所書記ガ高等官デアルト云フト、命令系統ニ於テモ非常ニ宜イノデヤナイカト、斯様ニ考ヘテ居リマス

○村上恭一君 下級ノ職員ヲ優遇スル、優秀ナ者ニ其ノ上進ノ途ヲ與ヘルト云フコトハ誠ニ結構ナコトデ、ドウシテモナケレバナラスコトト思ヒマスガ、サウ云フ趣意カラ申シマシテハ少シ突飛ナ考カモ知レマセヌガ、裁判書記ノ優秀ナ者ヲ判事又ハ檢事ニ登用スル特別任用デアリマスルガ、サウシテ下級ノ裁判所ノ特殊ノ事務ダケヲ受持タセルト云フコトハ、ウマク行ハレ、バ存外好イ成績ヲ擧ゲルノデヤナイカ、失禮ナ言分カモ知レマセヌガ若イ判事サハ老練ナ書記ニ教ヘラレテ職務ヲ執ッテ居ルト云ツタヤウナ、簡單ニ言ヘバコトモナイデハナイノデアリマス、斯ウ云フ際ニハ老練ナ書記ヲ判事ニシテ其ノ職ヲ執

ラセルト云フコトガ一層能率ヲ擧ゲル所以デハナイカト思ヒマスガ、今申シマシタ判事檢事ノ特別任用ト云フコトハ當局ニ於テ御考ニナッテ居リマセヌデセウカ、伺ヒタイと思ヒマス

○國務大臣(木村尚達君) 只今御話ノ判事檢事ノ特別任用ノ點ハ既ニ數年來實ハ問題トシテ研究致シテ居リマス、ソコデ判事補或ハ書記補ト云フヤウナ官職ヲ設ケマシテ、書記ノ優秀ナ人間ヲ拔擢シテサウ云フ職ヲ與ヘテ先ヅ簡單ナ檢察事務、或ハ裁判事務ヲ行ハセル方ガ適當デハナイカト云フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマス、只判事ノ方面ニアリマシテハ可ナリ判事ノ職責ノ上カラ強キ反對ガ一部ニアリマスシ、又檢察事務ノ方ト致シマシテモ、最近御承知ノヤウナ人權等ノ問題デ非常ニ議論ガヤカマシイノデアリマスノデ、サウ云フ制度ヲ拵ラヘルニ致シマシテモ、現在ハドウモ其ノ時機デハナイト實ハ考ヘテ居ル次第デアリマス、殊ニ小サイコトナラバ或ハ現在デモ多少反對論ヲ緩和スル餘地ガアルカモ知レマセヌケレドモ、眞ニ裁判事務ノ末梢的職務デアリマスナラバ又之ニ能シ、書記ノ方ノ優秀ナ者ヲ持ッテ來ルト云フコトハ却ッデ又書記ノ事務ノ方ノ能率ノ上カラ考ヘテ躊躇シナケレバナラス點モアルノデアリマス、併シ仰セノヤウナ制度ハ既ニ數年來司法部モ研究致シテ居リマスルノデ、若シ各方面ノ了解ヲ得テ時機ガ到來致シマシタナラバ、サウ云フ方面ニ付テモ十分ナ考慮ヲ拂ッテ見タイト思ッテ居リマス

○村上恭一君 ソレカラ數字ノ話デゴザイマスガ、今度ノ法律改正ニ伴ヒマシテ、昭和十五年度ニ於キマシテハ書記長ガ五十一

人増員スルヤウニ此ノ調書ヲ見受ケマシタガ、其ノ五十一人ハドウ云フ風ニ御配置ニナルノデゴザイマセウカ

○政府委員(坂野千里君) 五十一名ノ配置デゴザイマスガ、是ハサツキ大臣カラモチヨット申上ダタヤウニ、大體優秀ナ者ヲ拔擢シテ行クト云フ考デ、ソレデサウ云フ觀點カラ見マシテ、全體ノ地方裁判所檢察局ノ書記百三名ニナリマス、ソレヲ見究メマシテ、其ノ中ノ優秀ナ者ヲ抜イテ行クト云フ基礎觀念デアリマシテ、ソレデ東京大阪ノヤウナ所、或ハ控訴院所在地ノ所ハ地方裁判所モ檢察局モ高等官ニナレル、他ノ地方或ハ宇都宮トカ、静岡新潟ト云フヤウナ所ハ、或ル時ハ高等官ノ書記長ガアル、或ル時ハ判任官ノ監督書記ガ居ル、斯ウ云フヤウナ状態ニナルト考ヘテ居リマス、確實ニ何處ニ置クト云フコトハチヨット申上ダ兼ルノデアリマス

○村上恭一君 サウシマス、今ノ地方裁判所、其ノ檢察局ニ於ケル書記長ノ配置ハ所ニ依ルノデハナク人ニ依ル、斯ウ云フコトニナリマス

○政府委員(坂野千里君) 大體人ヲ基礎トシテ考ヘテ居リマスガ、今申上ダタ通り大キナ裁判所ハ是ハ矢張り部下モ非常ニ澤山居ルノデアリマスカラ、其ノ裁判所ハ矢張り高等官ヲ置カナケレバナラスカト考ヘテ居リマス

○村上恭一君 サウ致シマス、ト來年度ノ増員ノ五十一人ト云フノハ人ニ付テデスカ、凡ソ候補者ノ目星ヲ著ケテ、此ノ改正實施ノ當初、先ヅ是ダケノ人間ハ書記長ニシテ宜カラウト云フ御見込デ斯ウ云フ案ヲ御立テニナツタノデアリマス

○政府委員(坂野千里君) 其ノ點ハ此ノ五十一名ト云フノハ、是ハ經過ヲ申上ダマスガ、全體ノ地方裁判所檢察局ノ監督、サツキ言ヒマシタ百三名ヲ全部奏任ニ致シタイト云フ案ニナツテ出シタノデアリマスガ、色々財政上ノ關係デ五十一名ニナリマシタ、只今居ル人ヲ狙ッテ五十一名ヲ算定シタ譯デハナイノデアリマス

○村上恭一君 サウシマス、ト今後ハ豫算ノ折衝デ、御話ニナリマシタ地方裁判所及檢察局、總數百何箇所デスカ、其ノ全部ニ書記長ヲ配置スルト云フコトニ司法省ハ努力爲サル譯デスカ

○國務大臣(木村尚達君) ソレガ司法部年來ノ希望デアリマス

○委員長(子爵加藤泰通君) 如何デゴザイマス、他ニ御質疑ガゴザイマセスカ……

○黒崎定三君 幸ヒ大臣ガ御見エニナリマスカラ、チヨット簡單ナコトヲ御尋シタイト思ヒマス、裁判所ニ書記、書記長ト云フノデスガ即チ原則ガ判任官、ソレノ特別任用デ成レル書記長ヲ置カウ、斯ウ云フ時ニハ構成法ノ改正ニナリマスネ、現ニオヤリニナツテ居ル、處ガ本物ノ判事、檢察ヲ奏任官ニスルカ、勅任官ニスルカト云フコトハ構成法ノ問題ニナツテ居ラナイ、唯或判事ニ付テノ補職ノ關係ハ構成法ニハ規定ガアリマス、補職ニ付テノ重イ手續ヲ執ルト云フコトハ書イテアリマスガ、奏任官ト勅任官ノ區別ハ其ノ數ヲドウ云フ風ニ按配スルカハ全部勅令デ出來ルコトニナツテ居ルヤニ思ヒマスガ、ドウ云フ譯デ書記長ノ方ヲ構成法ノ法律デ決メナケレバナラスカ、ドウ云フ所ニ根柢ガアルノデゴザイマセウカ

○國務大臣(木村尚達君) 只今ノ御質問、突然デアリマシテ深クサウ云フ方面考ヘテ居リマセヌデシタガ、兎ニ角只今ノ構成法中ニ書記課ノ事務ヲ司ル者デ高等官ノ名稱ガ書記長トシテ構成法ニ規定サレテ居リマスカラ、其ノ關係上今面書記課ノ事務ヲ司ル者ヲシテ奏任官ヲシムルモノニハ矢張り構成法ノ從來ノ規定ニ從ッテ書記長トシテノ官職ヲ設ケルト云フコトガ適當カト考ヘテ構成法ノ改正ニナツタモノト想像致シテ居リマス

○黒崎定三君 ソレハ現在ノ建前ガ構成法ニ規定サレテ居リマスカラソレハ仕方ガアリマセヌガ、併シ本物ノ判事檢察ノ勅任ノ數ト、奏任ノ數ト、ドウ云フ風ニ按配スルカト云フコトハ、法律ヲ改正セズトモ爲シ得ル關係ニ現在爲サレテ居リマス、サウスルト此ノ書記長ヲ奏任官トシテ、斯ウ云フ風ニ増員シタリスルヤウナ時ニハ、現在ノ制度ヲ變ヘテ、寧ロ勅令ニ委ネル、勅令ノ方デ爲シ得ルヤウニ御改メニナルコトノ方ガ、一ツノ考ヘ方デヤナイカト思フノデアリマスガ、ドウ云フ風ニ御考ニナリマス、是ハ實ハ會計検査院トチヨット取出シテ見ルト能ク似寄ッタコトデスケレドモ、會計検査院ノ方ハ、今ハアノ判任官優遇ノ理事官デサヘ法律ノ中ニ書イテアリマス、一體此ノ當時ノ明治初年ノ裁判所、ソレカラ會計検査院、ソレカラ行政裁判所、ソレカラ手近ナ議院ノ事務局ノ職員デ凡ソ奏任官以上、所謂高等官以上ノ地位ヲ與フベキ時ニハ法律デ總テ書ク、法律ノ規定ニ依ッテ……サウ云フモノヲ拵ヘルト云フ時ニハ法律デ必ズ書キ、判任官デハ勅令ニ委ネルト云フ風ニナツテ居ッタヤウデアリマス、ドウ云フ原理デアルカハ存ジマセヌケレド

○國務大臣(木村尚達君) 是ハ色々世論ノ中ニハ、檢察局ト裁判所ガ對立シテ居ルカノ如キ話モ聞キマスガ、私共部内ニ居ッテ考ヘテ見マスルト、結局サウ云フ對立シテ

モ、兎ニ角結果カラ見ルトサウ云フ風ニナツテ居ッタヤウデアリマス、處ガ御膝下ノ議院ノ事務局ノ方デハ或種ノ高等官ハ既ニ議院法デハ書カナイコトニ現在ナツテ居リマス、サウ云フ風ナ考ヘ方ヲシテ宜イノデヤナイカト思ハレマスガ、裁判所ノ方モ是ハ一ツ御考ヘニナツテ宜イコトデヤナイカト思ヒマスガ、併シ或ハ私ノ考ガ間違ッテ居ルカモ知レマセヌ、御研究ナリ或ハ御研究ニナル一ツノ參考ニシテ戴イデモ宜イカト存ズル譯デアリマス

○國務大臣(木村尚達君) 只今ノ御話ハ尙篤ト研究致シマシテ、若シモ御意見ノヤウニヤル方ガ一般ノ法制ノ建前トシテ宜シイト云フ結論ニ達シマシタラ、其ノ方面ノ方ニ將來考ヘテ行キタイト考ヘテ居リマス

○黒崎定三君 ソレカラモウ一ツ、實ハ是ハ全ク方面ノ違ッテ關係デアリマスガ、裁判所ト檢察局デス、マア檢察局ハ裁判所ニ付置スルコトニナツデアリマスガ、裁判所ノ書記課ニ書記長ヲ置ク、檢察局ノ書記課ニ又書記長ヲ同ジヤウニ置クト、斯ウ云フコトニナツテ雙方何カ對立關係ノヤウニ見エル處ガアル、世ノ中ニハ、檢察局ト裁判所トガ、ドウモ對立シテイカスト云フ風ナ噂モアルヤニ聞キマス、マサカサウデハナイト思ヒマスガ……判事、檢察ニ付テハドウデアルカ、是ハ私存ジマセヌガ、全ク對立ノヤウニ見エテ來ル處ガアルヤウニ思ヒマスガ、何トカ是ハ出來ヌモノデゴザイマセウカ

○國務大臣(木村尚達君) 是ハ色々世論ノ中ニハ、檢察局ト裁判所ガ對立シテ居ルカノ如キ話モ聞キマスガ、私共部内ニ居ッテ考ヘテ見マスルト、結局サウ云フ對立シテ

モ、兎ニ角結果カラ見ルトサウ云フ風ニナツテ居ッタヤウデアリマス、處ガ御膝下ノ議院ノ事務局ノ方デハ或種ノ高等官ハ既ニ議院法デハ書カナイコトニ現在ナツテ居リマス、サウ云フ風ナ考ヘ方ヲシテ宜イノデヤナイカト思ハレマスガ、裁判所ノ方モ是ハ一ツ御考ヘニナツテ宜イコトデヤナイカト思ヒマスガ、併シ或ハ私ノ考ガ間違ッテ居ルカモ知レマセヌ、御研究ナリ或ハ御研究ニナル一ツノ參考ニシテ戴イデモ宜イカト存ズル譯デアリマス

○國務大臣(木村尚達君) 只今ノ御話ハ尙篤ト研究致シマシテ、若シモ御意見ノヤウニヤル方ガ一般ノ法制ノ建前トシテ宜シイト云フ結論ニ達シマシタラ、其ノ方面ノ方ニ將來考ヘテ行キタイト考ヘテ居リマス

○黒崎定三君 ソレカラモウ一ツ、實ハ是ハ全ク方面ノ違ッテ關係デアリマスガ、裁判所ト檢察局デス、マア檢察局ハ裁判所ニ付置スルコトニナツデアリマスガ、裁判所ノ書記課ニ書記長ヲ置ク、檢察局ノ書記課ニ又書記長ヲ同ジヤウニ置クト、斯ウ云フコトニナツテ雙方何カ對立關係ノヤウニ見エル處ガアル、世ノ中ニハ、檢察局ト裁判所トガ、ドウモ對立シテイカスト云フ風ナ噂モアルヤニ聞キマス、マサカサウデハナイト思ヒマスガ……判事、檢察ニ付テハドウデアルカ、是ハ私存ジマセヌガ、全ク對立ノヤウニ見エテ來ル處ガアルヤウニ思ヒマスガ、何トカ是ハ出來ヌモノデゴザイマセウカ

○國務大臣(木村尚達君) 是ハ色々世論ノ中ニハ、檢察局ト裁判所ガ對立シテ居ルカノ如キ話モ聞キマスガ、私共部内ニ居ッテ考ヘテ見マスルト、結局サウ云フ對立シテ

モ、兎ニ角結果カラ見ルトサウ云フ風ニナツテ居ッタヤウデアリマス、處ガ御膝下ノ議院ノ事務局ノ方デハ或種ノ高等官ハ既ニ議院法デハ書カナイコトニ現在ナツテ居リマス、サウ云フ風ナ考ヘ方ヲシテ宜イノデヤナイカト思ハレマスガ、裁判所ノ方モ是ハ一ツ御考ヘニナツテ宜イコトデヤナイカト思ヒマスガ、併シ或ハ私ノ考ガ間違ッテ居ルカモ知レマセヌ、御研究ナリ或ハ御研究ニナル一ツノ參考ニシテ戴イデモ宜イカト存ズル譯デアリマス

○國務大臣(木村尚達君) 只今ノ御話ハ尙篤ト研究致シマシテ、若シモ御意見ノヤウニヤル方ガ一般ノ法制ノ建前トシテ宜シイト云フ結論ニ達シマシタラ、其ノ方面ノ方ニ將來考ヘテ行キタイト考ヘテ居リマス

○黒崎定三君 ソレカラモウ一ツ、實ハ是ハ全ク方面ノ違ッテ關係デアリマスガ、裁判所ト檢察局デス、マア檢察局ハ裁判所ニ付置スルコトニナツデアリマスガ、裁判所ノ書記課ニ書記長ヲ置ク、檢察局ノ書記課ニ又書記長ヲ同ジヤウニ置クト、斯ウ云フコトニナツテ雙方何カ對立關係ノヤウニ見エル處ガアル、世ノ中ニハ、檢察局ト裁判所トガ、ドウモ對立シテイカスト云フ風ナ噂モアルヤニ聞キマス、マサカサウデハナイト思ヒマスガ……判事、檢察ニ付テハドウデアルカ、是ハ私存ジマセヌガ、全ク對立ノヤウニ見エテ來ル處ガアルヤウニ思ヒマスガ、何トカ是ハ出來ヌモノデゴザイマセウカ

居ルヤウニ世ノ中ニ見ラレル原因ハ、現在ノ訴訟ノ建前ガ一方ハ攻撃ノ方面ヲ掌テ居ルト云フヤウニ考ヘラレマシテ、兎ニ角検事局ノ意見ト裁判所ノ意見ガ違タデヤナイカトカ、是ハモウ違フコトガアルコトハ寧ロ當然デアリマセウガ、而モサウ云フ關係カラ、何トナク裁判所ト検事局ノ間ニ對立の關係ガアルヤウニ、世人ガ見ルノデハナイカト實ハ考ヘテ居ルノデアリマスガ、私自身ノ内部ノ經驗カラ言ヒマス、時ニハ其ノ世論ヲ裏書スルヤウナコトガ、ソレハ澤山ノ人ノ間デアリマスカラアリマスガ、一般ノ上カラ申シマス、職務權限ハ違ヒマスアレドモ、職務權限ニ障ラナイ相互ノ事務ノ連絡等ニ付テハ十分ニ協調シテヤツテ居リマシテ、御心配ノヤウナ事實ハナイモノト實ハ私共信ジテ居ルノデアリマス

○黑崎定三君 モウ一ツ關聯シタ問題デスガ、詰リ檢事ガ上官ノ命ニ從フベキモノデアリ、又檢事ノ職務ニ付テハ構成法ニ規定ガソレノサレテアル、法律ヲ決メラレテアル譯デアリマスガ、是ハ私モ其ノ沿革及ビ其ノ事情ハ實ハ能ク存ジマセス、存ジマセヌガ、現在アル所ノ司法省官制ニ、司法大臣ガ檢事ヲ指揮スルト云フ規定ガアル筈ト思ツテ居リマス、アノ規定ヲ構成法……法律中ニ御入ニナル御考ハナイノデゴザイマス、アレハ勅令デ……現在アル司法省官制ニアル其ノ儘デ宜シト云フノデゴザイマセウカ

○國務大臣(木村尙達君) 只今御質疑ニナリマシタ點ハ、可ナリニ重大ナ問題ト考ヘマスノデ、色々檢事ノ性質論等モ又中ニハ起ツテ來マセウシ、今直チニ官制内ノ指揮

ノ規定ヲ構成法内ニ取入ルベキカ、或ハ現在ノ儘ヲ進ム方ガ是ナリトスルカ、今直チニ茲デ私ノ意見ヲ申上ゲル場合デナイト思ヒマスガ、尙ソレ等ノ點ニ付テモ色々ナ議論モアルコトデアリマスカラ、將來ニ於キマシテ慎重ニ一ツ研究シテ見タイト考ヘテ居リマス

○委員長(子爵加藤泰通君) 如何デゴザイマセウカ、マダ只今ノ會計檢査院法中改正法律案、裁判所構成法中改正法律案、之ノ質疑ヲ打切ツタ譯デアリマセヌガ、本日ハ此ノ程度デ閉會ニ致シタラ如何デゴザイマセウカ……ソレデハ此ノ程度デ閉會致シマス

午前十一時二十八分散會

出席者左ノ如シ

委員長 子爵加藤 泰通君
副委員長 男爵渡邊 修二君
委員

公爵鷹司 信輔君
侯爵井上 三郎君
伯爵有馬 賴寧君
子爵米田 國臣君
子爵波多野 二郎君
村上 恭一君
三井清一郎君
柴田善三郎君
男爵井田 馨楠君
黑崎 定三君
男爵井上 清純君
結城 安次君
平尾 喜一君

國務大臣

司法大臣 木村 尙達君

政府委員

內閣恩給局長 平木 弘君
法制局長官 廣瀨 久忠君
法制局參事官 樋貝 詮三君
海軍少將 阿部 勝雄君
司法參與官 子爵高木 正得君
司法省民事局長 坂野 千里君

昭和十五年三月二十日印刷

昭和十五年三月二十日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局